



研究会・研修会等への

報告者・講師の派遣

(平成十四年一月～三月)

任研究員)

○道南ブロック農業生産法人研修会

主 催 北海道農業会議

と き 平成14年1月18日

テ ー マ 農業・農業経営を取り巻く

経営政策と課題

講演者 黒澤 不二男

(当研究所・常務理事)

○農業経営指導スペシャリスト研

修

主 催 上土幌町

と き 平成14年1月24日

テ ー マ 新経営政策で農業者に求め

られる課題と経営改善の支

援

講演者 黒澤 不二男

(当研究所・常務理事)

○農業機械工業会総会・研修会

主 催 北海道農業機械工業会

と き 平成14年1月25日

テ ー マ チャレンジの農業者の群像

講演者 黒澤 不二男

(当研究所・常務理事)

○JA訓子府青年部研修

主 催 JA訓子府

と き 平成14年2月13日

テ ー マ 今後の経営意向と地域農業

支援システム

話題提供者

高田 稔(当研究所・研究部長)

井上 誠司(当研究所・専任研究員)

○全道漁協・漁場環境保全研修会

主 催 北海道指導漁連

と き 平成14年2月13日

テ ー マ 北海道農業・農村の持つ多

面的機能

講演者 佐伯 憲司

(当研究所・専務理事)

○第2回日高ニューリーダー育成セ

ミナ

主 催 日高支庁

と き 平成14年2月14日

テ ー マ 農業経営複合化の課題学習

と討論

司会者 黒澤 不二男

(当研究所・常務理事)

○松山農漁村女性フォーラム

主 催 松山支庁

と き 平成14年2月22日

テ ー マ 女性が変わる農漁村

講演者 黒澤 不二男

(当研究所・常務理事)

○今金町トップセミナー

主 催 ビリカファーム松山支庁

と き 平成14年2月27日

テ ー マ 農業・農業経営の今後の展

開と留意点

講演者 黒澤 不二男

(当研究所・常務理事)

○JA美唄女性部総会・研修会

主 催 JA美唄

と き 平成14年2月28日

テ ー マ 農業経営のパートナーのあ

り方

講演者 黒澤 不二男

(当研究所・常務理事)

○地域担い手センター担当者研修会

主 催 北海道農業担い手育成セン

ター

と き 平成14年3月1日

テ ー マ 農業経営のパートナーのあ

り方

講演者 黒澤 不二男

(当研究所・常務理事)

○先進農業者協議会・研修会

主催 北海道先進農業者協議会

とき 平成14年3月2日

テーマ 北海道農業・農村の持つ多

面的機能

講演者 佐伯 恵司

(当研究所・専務理事)

○沼田町Napus総会・研修会

主催 JA沼田・パソコンユ

ーズグループ

とき 平成14年3月4日

テーマ 新時代を勝ち抜く農業経営

と求められる経営者像

講演者 黒澤 不二男

(当研究所・常務理事)

○第3回日高ニューリーダー育成セ

ミナー

主催 日高支庁

とき 平成14年3月8日

テーマ 農業経営多角化の課題学習

と討論

司会者 黒澤 不二男

(当研究所・常務理事)

○岩手県普及活動研究会

主催 岩手県庁

とき 平成14年3月11日

テーマ 普及における発想転換と普

及活動

講演者 黒澤 不二男

(当研究所・常務理事)

○第4回十勝農林漁業環境保全意見

交換会

主催 十勝水産用水汚濁防止対策

協議会

とき 平成14年3月15日

テーマ 北海道農業・農村の持つ多

面的機能

講演者 佐伯 恵司

(当研究所・専務理事)

○JJA空知女性部協議会総会・研修

会

主催 空知女性部協議会

とき 平成14年3月18日

テーマ 農業経営のパートナーとし

てのあり方

講演者 黒澤 不二男

(当研究所・常務理事)

○平成14年度有機農業技術交換大会

主催 北海道有機農業研究協議会

とき 平成14年3月20日

テーマ 環境にやさしい持続的農業

と北海道農業

司会者 黒澤 不二男

(当研究所・常務理事)

○サツラク農協婦人同志会総会・研

修会

主催 サツラク農協

とき 平成14年3月22日

テーマ 酪農経営におけるパート

ナーシッブ

講演者 黒澤 不二男

(当研究所・常務理事)

○ニセコ町農業アドバイザー研修会

主催 ニセコ町

とき 平成14年3月25日

テーマ 農業経営集約化の課題と畑

作経営

話題提供 黒澤 不二男

(当研究所・常務理事)

○和寒町農事講習会

主催 和寒町

とき 平成14年3月26日

テーマ 今後の北海道農業と農業経

営の展開方向

講演者 黒澤 不二男

(当研究所・常務理事)

○道南地区JA青年部協議会総会・

研修会

主催 道南地区JA青年部協議会

とき 平成14年3月28日

テーマ 農業経営における原価管理

と経営改善

講演者 黒澤 不二男

(当研究所・常務理事)

○フードセミナー2002

主催 道農政部流通対策課

とき 平成14年3月29日

テーマ 食と健康トークセッション

司会者 黒澤 不二男

(当研究所・常務理事)

○2002年度農業問題研究学会

主催 日本農業問題研究学会

とき 平成14年3月29日



DATA FILE

関連事項/DATA

(財)北海道農業開発公社

〒 060-0005
札幌市中央区北 5 条西 6 丁目
☎ 011(271)2231

ホクレン農業協同組合連合会

〒 060-8651
札幌市中央区北 4 条西 1 丁目 3 番地
☎ 011(232)6108 広報宣伝課

市立名寄短期大学

〒 096-8641
名寄市西 2 北 8 - 1
☎ 01654(2)4194

下川町

〒 098-1206
上川郡下川町幸町 63 番地
☎ 01655(4)2511

風連町特別養護老人ホーム 白樺ハイツ

〒 098-0502
上川郡風連町北栄町 51 番地 1
☎ 01655(3)2971

社会福祉法人 清流の里

〒 098-1421
紋別郡西興部村字上興部 246 番地 11
☎ 01588(7)2115

J A 幕別町

〒 089-0693
中川郡幕別町本町 45 番地
☎ 0155(54)4111

幕別町

〒 089-0692
中川郡幕別町本町 130 番地
☎ 0155(54)2111

(社)北海道地域農業研究所

〒 064-0004
札幌市中央区北 4 条西 7 丁目 1
☎ 011(281)2566
E-mail : kaihou@chiikinouken.or.jp

テーマ 上層農形成の停滞と地域農
業の新たな展開
報告 井上誠司
(当研究所・専任研究員)

編集後記

厳しい経済情勢を反映して、農業開
連政策費用も小泉内閣の聖域無き構造
改革の矢面に立たされている。一方で
国民のライフスタイルも「物の豊か
さ」から「心の豊かさ」へ変化しつづ
あり、その面で農業の果たす役割を見
直そうという動きもある。
農業の多面的機能を数値として表し
て再評価し、その機能を維持確立する

ために補助金を使うことは利益に寄与
するという考えである。現在評価の対
象になっているのは、大きく内部経済
効果と外部経済効果に分かれて、内部
経済効果としては①農産物生産機能、
②関連産業誘発機能、外部経済効果と
しては①洪水防止機能、②土壌浸食防
止機能、③水資源かん養機能、④大気
浄化機能⑤アメニティ機能及び自然教
育機能、⑥農業実務研修機能に分かれ
てそれぞれ数値化している。ちなみに
アメニティ機能とは景観や生態系維持
に関する機能である。
字句からだいたい想像は出来るが、
これを衆知化して絶対評価する事はい
かにも大変そうである。一方で農業の

負の部分もこの評価の中に加えなくて
良いのだろうか。農業用ヒールシー
トやその他農業廃棄物、家畜そのもの、
またふん尿のもたらす地球温暖や河川
汚濁等々、営農そのものが自然環境破
壊の要素を持っている。これらも同じ
テーブルで評価して初めて、国民全体
の同意と協力が繋がるのではないか。

お詫びと訂正

「地域と農業」44号

特集 講演「国際化の新段階と日本農
業の戦略」の34ページ(3カ所)
今村奈良臣先生の作られた川柳
「我を我 されとなお問う 共と協」を

「我は我 されとなお問う 共と協」に
お詫びして訂正します。

また「時の話題」野菜加工の現状と
展望(35〜36ページ)の執筆者、北海
道大学大学院 杉山 泰彦となってい
ますが、正しくは、杉村 泰彦の間違
いでした。お詫びして訂正します。

またホクレン肥料の広告で、代表取
締役社長が足立 明、住所が札幌市中
央区北1条西3丁目3番地となってお
りませんが、現在は代表取締役社長が富
井 淳、住所は移転して札幌市中央区
北4条西1丁目1番地 北農ビル18F
となっております。